

社会資本総合整備計画

事後評価書

平成31年 3月 日

計画の名称	深谷市における安全な公共下水道の整備		
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	深谷市
計画の目標			

下水道(雨水)及び処理場(改築更新)の整備を行い、安全・安心で快適な都市環境を創出する。

計画の成果目標(定量的指標)

- ①下水道による都市浸水対策達成率を51%(H25)から55%(H29)に増加させる。
- ②処理場の改築更新事業整備率を45%(H25)から100%(H28)に増加させる。
- ③処理場の改築更新事業整備率を0%(H25)から50%(H29)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
①下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)/浸水対策を実施すべき面積(ha:145.7ha)	51%	51%	55%	①指標のH26年度まではその他関連する事業と一体的に評価する。
②処理場の改築更新事業整備率(第一期) 改築更新工事整備数(資産数)/改築更新工事計画数(資産数:118箇所)	45%	85%	100%	
③処理場の改築更新事業整備率(第二期) 改築更新工事整備数(資産数)/改築更新工事計画数(資産数:10箇所)	0%	25%	50%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,937百万円	A	1,937百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	-------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価(中間評価)の実施時期 平成31年3月
「深谷市下水道事業事後評価実施規程」及び「深谷市下水道事業事後評価委員会規程」に基づき事後評価を実施	
公表の方法 市ホームページにおいて公表	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	国費率(基本)	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
No.1深谷処理区																
A1-1-1	下水道	一般	深谷市	直接	深谷市	5.5/10	深谷市浄化センター長寿命化改築更新事業(第一期)	処理場設備改築更新	深谷市						753	計画
														686	実施	
A1-1-2	下水道	一般	深谷市	直接	深谷市	5.5/10	深谷市浄化センター長寿命化改築更新事業(第二期)	長寿命化調査計画策定 処理場設備改築更新	深谷市						178	計画
														67	実施	
No.2城西・原郷中部排水区																
A1-2-1	下水道	一般	深谷市	直接	深谷市	1/2	国済寺地区 雨水管整備事業	管渠(L=0.5km)	深谷市						84	計画
														29	実施	
No.3小前田第5排水区																
A1-3-1	下水道	一般	深谷市	直接	深谷市	1/2	小前田第5雨水幹線整備事業	管渠(L=1.3km)	深谷市						1,550	計画
														1,155	実施	
											合計	2,565	計画			
												1,937	実施			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	国費率(基本)	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
											合計	0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

A'	866百万円	B'		C'		$(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))$	0.0%
----	--------	----	--	----	--	---------------------------------	------

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>① 下水道による都市浸水対策達成率：H25時点で整備率51%だったものが、H29末時点においては55%整備が完了した。</p> <p>② 処理場の改築更新事業整備率（第一期）：H25時点で整備率45%だったものが、H28末時点においては100%整備が完了した。</p> <p>③ 処理場の改築更新事業整備率（第二期）：H26時点で整備率0%だったが、H29時点においても0%である。</p>		
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	55 %	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	55 %	
	指標②（処理場の改築更新事業整備率（第一期））	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100 %	
	指標③（処理場の改築更新事業整備率（第二期））	最終目標値	50 %	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	0 %	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>下水道事業全体の財政事情（支出調整）から、長寿命化計画（第二期）策定を1年先延ばしとしたことで、事業実施が1年遅れ、本計画期間内においては、長寿命化計画（第二期）に係る改築更新実施設計までとなった。</p>		
3. 特記事項（今後の方針等）				
<p>公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、次期（H30年度からH34年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていく。</p>				